

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『1ねん1くみの女王さま どきどきキャンプ』 itou mik / 作
・つむぎは小学校1年生。同じクラスには、わがままで自由きままな、女王さまみたいなひめかちゃんがいる。夏休み、学校でのおとまりキャンプに、みんなに参加することに。ところが、次から次に事件が起こって…!?(小初)



『ようかいばあちゃんちのおおまがどき』 最上 一平 / 作
・夏休み、ようかいばあちゃんちにやってきた、すみれちゃん。昼過ぎ、お母さんと女の子が急な夕立で雨宿り。ふたりが帰ったあと、すみれちゃんが夕ごはんのお手伝いをしていると、夕やけの光で辺りは一面あかね色になり…。(小初)



『ふしぎなつうがくろ』 花里 真希 / さく
・ひろとが体操服の入った袋を振り回して歩いていると、勢いがつきすぎて手から袋がぱっと離れて竹林へ飛んでいきました。すると袋を引っかけたまま竹の子が急成長し…。春夏秋冬、ひろとが通学路で出会う素敵で不思議な体験。(小初)



『いちにちじゅうおばけずかん』 斉藤 洋 / 作
・いちにちじゅう、こわ〜いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ!「よあけだまし」「まよなかのパーティートイレ」など、こわいおばけの話全7話を収録。(小初)



『ようせいじてん 色のようせい 12色+1』 小手鞠 るい / 作
・あなたの好きな色は? 白のようせいはお絵かき大好き、ピンクのようせいはラブリーなお姫さま…。さまざまな色のようせいたちの物語を収録。1日1話の読み聞かせにもぴったりの本。すべての見開きにかわいい挿絵入り。(小初)










『パインさんのごちゃませかんばん』 レオナード・ケスラー / さく
・かんばん屋のパインさんは、古くなった町中のかんばんを作り替えてほしいと町長さんから依頼を受けました。ところが、大事なメガネをなくしたままかんばんをとりつけたために、町中が大変なことに? ユーモアいっぱいのお話。(小初、小中)



『オセロのジャムとにじ色トカゲ』 島村 木綿子 / 作
・ヒイラギの垣根の中に広がるモフカの庭で、ねこのオセロはジャムを作っています。ある日、にじ色に光るトカゲが庭にあらわれて、たいへんなさわぎに! そのうえ、ミケねこのサクラのしっぽまで七色に光りはじめてしまい…。(小初、小中)



<p>『爆弾になったひいじいちゃん』 さく／のぶみ</p> <p>・戦争は、絶対に、してはいけない！おばあちゃんからひいじいちゃんについて聞いた男の子。ひいじいちゃんは鹿児島から特攻機に乗って戦争に行き…。特攻隊の遺書のおよみきかせとともに、戦争について伝える。(小初、小中)</p>	
<p>『かたづけ大作戦』 志津 栄子／作</p> <p>・かたづけが苦手な芽衣とお母さん。家の中がももであふれ返り、手がつけられない状態で…。友だちに家に遊びに来てほしいという芽衣の願いは叶うのか？かたづけることを通して、親子の絆をとり戻していく愛情あふれる物語。(小中)</p>	
<p>『ドリトル先生大航海記』 作／ヒュー・ロフティン</p> <p>・ドリトル先生は、動物と話せるお医者さん。先生の助手になり、少しずつ動物の言葉が話せるようになってきた少年トーマスは、先生や動物たちといっしょに航海に出ることに…。折り込みのお話図解「物語ナビ」付き。(小中)</p>	
<p>『世界のふしぎは、きっと誰かの仕事でできている。』 田丸 雅智／著</p> <p>・空模様をデザインする「空染め職人」、動物たちに鳴き方を教える「生き物ボイストレーナー」…。あったら楽しい、そして、想像が広がる架空職業につく人たちの姿を描く。働くことの楽しさと意味も考えさせられる感動物語。(小中、小上)</p>	
<p>『うちのキチント星人』 佐藤 まどか／作</p> <p>・はとこのあっくんと暮らすことになった小学4年生の千歌。あっくんは、なんでもキチントしないと気がすまない「キチント星人」。「オオザッパ星人」の千歌は、そんなあっくんと生活をめんどくさいと感じるが…。(小中、小上)</p>	
<p>『スペルホーストのパペット人形』 ケイト・ディカミロ／作</p> <p>・天涯孤独な老人が残した1通の手紙と5体の人形。それを幼い姉妹が引きつぎ、人形劇の台本を書きはじめました。ところが、人形たちに次々と災難が降りかかり、みんなちりぢりになってしまい…。(小上)</p>	
<p>『みおちゃんも猫好きだよね?』 神戸 遥真</p> <p>・とてもかわいい転校生のみおちゃんは、猫アレルギーがあることを秘密にしていた。ところが、猫のいる雑貨店で、みおちゃんの誕生日会を開く計画が勝手に進んでしまい…。見えない病気や困難と配慮を考えるきっかけとなる一冊。(小上)</p>	
<p>『見つけ屋とお知らせ屋 十年屋と魔法街の住人たち 5』 廣嶋 玲子／作</p> <p>・いつも旅の空の下、何かを探し続ける、見つけ屋のミネさん。片や、ほとんど外に出ない、お知らせ屋のトートーさん。このふたりには、実は強い絆があって…。「十年屋」シリーズのキャラクター、ミネ&トートーの物語。(小上)</p>	